

盛り上がった 第2回社長懇話会

世界を駆ける「はんだごて」 白光株式会社 見学と懇談会

第2回ATAC社長懇話会を7月23日（水）10時より、リーガロイヤルホテル堺に20名の中堅・中小企業社長および幹部と、ATACメンバー約20名が集合し開催しました。

スケジュールに従いまず白光株式会社の工場見学を行いました。当社は「はんだごて」の世界有数メーカーで、現在鉛フリーはんだ対応製品で活況を呈しており、2年前に就任された吉村加代子社長が女性の感性を生かし、革新を推進されているユニークな会社です。

【工場見学】

白光株式会社は今年4月より生産革新を実施し、3ヶ月間に次のような成果を挙げたとの報告がありました。

- 1) リードタイム：10～14日→5日に短縮
- 2) 仕掛品在庫：20～30日→6日に短縮
- 3) 生産性：1.5倍（一人当たりの時間効率）に向上



ご説明を聞いたあと工場見学に移り、その成果をつぶさに見聞することができました。

【懇談会】

工場見学の後、リーガロイヤルホテル堺に移り、昼食休憩後約1時間白光株式会社吉村加代子社長から、本日のテーマ「人材育成と社内活性化」について経営方針や抱負などを含め、たいへん参考になるお話を聞くことができました。

音楽が大好きで、音楽学校に入り将来オペラ歌手を目指していた経済も技術も知らず数字に弱い私が社長に指名されたとき、一体誰が何故決めたかと疑いました。しかし、究極の楽道家で仕事は海外営業しか知らないが、ここは生来の負けず嫌いで開きなおるかなと決心したのです。私は音楽の勉強で音楽を続けるのに必要な3要素

- ①志を持ち続ける
- ②自分に打ち勝つ強靭さ
- ③感性を磨くこと を学ぶことができました。

私の役目はよい指揮者になることです。音楽ではいろんな指揮者がいます。カラヤンは高慢的でこの音出せのタイプですが、私はバイオリンなど各パートの人の意見を聞く小沢征爾タイプの指揮者になりたいのです。

白光株式会社は2000年、売上高63億円で過去最高を記録しましたが、私が社長になった2001年5月からIT不況に巻き込まれ白光株式会社始めて以来誰もが経験したことのない1億円の赤字を出しました。

もがいても成果が上がるわけではないので、来年・再来年・3年後の種をまくことを考えました。開き直ると女は強い、絶対取り返してやるよと勇気が湧いてきたのです。そこで鉛フリーはんだごてを市場がシュリンクしている間に広めようと、低利益で市場にばらまく戦略を取りました。これが今生産に追われるうれしい悲鳴となっています。こうして、就任1年目の赤字1億円を2年目にお返しし、今年50期を迎える3年目をスタートと考え「第50期は生産革新の年とする！」を会社方針としたのです。

楽譜しか読めない私を168名の従業員が支えてくれて、白光株式会社はいい方向に進んでいます。従業員の能力を最大限に引き出すことを考え、各グループを代表して10人のメンバーで経営会議を月1回開いていますが、軌道に乗って面白くなってきました。

吉村社長のお話は音楽のリズムが流れるように1時間続き、大物経営者になる素質充分と一同深い感銘を受けた次第です。このあと創業者の吉村博会長から補足説明があり、参加者との活発な質疑応答や意見交換で盛り上がりましたが、最後に吉村社長に感謝の意を表して午後5時散会しました。（田頭 記）

